

日本橋活性化の一翼を担う 「日本橋美人プロジェクト」

NPO法人東京中央ネット 日本橋美人推進協議会

お江戸日本橋と歌われるように、かつて日本橋は商業の中心地であり、「粋」の街であったが、時代の流れとともに様相が変わっていった。往時の活気と輝きを取り戻すべく日本橋活性化に尽力する女性達がいる。日本橋の地域ブランドとして、江戸時代から続く伝統を身近に感じることににより培われた教養や品格、粋などの価値観を大切にする、心も身体も美しい女性を日本橋美人と総称し、その名称を通じ様々な活動で日本橋を活性化していく「日本橋美人プロジェクト」を2005年に立ち上げた。

プロジェクトを提唱し、その中心を担う「日本橋OLクラブ」の山田晃子部会長とメンバーの田中聡美氏が日本橋の魅力を語る。

日本橋と

Tokyo Station City

山田 株式会社鉄道会館にお勤めの田中聡美さんに日本橋と日本橋美人についてお話を伺います。

田中 弊社は東京駅の商業施設の開発や管理運営を行っています。私

情報交換ができ、楽しい時間を過ごさせていただいています。また女性として魅力的な方ばかりなので、とても勉強になります。

山田 東京駅の再開発について、お聞かせいただけますか。

田中 現在東京駅周辺は「東京駅が街になる」というキャッチフレーズで再開発が進行中で、一連の再開発地区は「Tokyo Station City（東京ステーションシティ）」と呼ばれています。

弊社の関係では、東京駅改札内地下1階のエキナカ商業施設「GRAN STA（グランスタ）」と、八重洲口の超高層ツインタワービル「Gran Tokyo South Tower（グラントウキョウサウスタワー）」の地下の商業施設「GranAge（グランアーージュ）」が2007年にオープンしました。

また、大丸東京店が「GranTokyo North Tower」に移転しリニューアルオープンしましたが、こちらの賃貸業務も弊社が行っております。

「東京駅に行けば何かがある」「至高のサービスが受けられる」とお客様に思っていたただけるように、Tokyo Station City の発展とともに地域に根ざした付加価値の向上を目指しています。

山田 東京駅周辺の商業エリアをご紹介します。

田中 「キッチンストリート」は清潔感溢れるカジュアルな雰囲気、有名シェフや銘店の上質な味が堪能できる食空間です。「黒塀横丁」は路面店のしつとりとした雰囲気、駅の中とは思えない風情があります。また、「北町ほろよい通り」はアットホームでリーズナブルなサラ

リーマン憩いの場です。それぞれの個性がありますので、その日の気分でもエリアをお選びいただければ楽しいと思います。

「GRANSTA」では、ここでもしか手に入らない東京駅限定商品を取り扱っているお店も数多くあります。散策しながら見つけていただくと、大変に面白いと言えます。

日本橋・八重洲界隈の魅力

山田 お仕事柄、八重洲・日本橋界隈に詳しい田中さんにとって、お気に入りのスポットはどんなところでしょう。

田中 東京駅八重洲北口から日本橋茅場町まで延びる「さくら通り」では、桜の開花に合わせてライトア

ップが行われます。中央区内の桜の名所の中で、最も多い169本の桜が夜空に映えるというとても美しいスポットです。日本橋美人商品では、榮太樓總本舗の「日本橋美人飴さくら」と千正屋總本舗の「日本橋美人SOYシェイク」がお気に入りです。いただきながら「きれいになれる」という実感が嬉しいですね。

山田 働く女性にとって心と身体の健康は大切ですが、特に気をつけていらっしゃることはありますか。

田中 定期的に、ランニングを1時間ほど行っています。食事制限は、反対にストレスが溜まるので基本的にはしません。ストレスの解消法は、ヒューマンタッチな映画を見て思いっきり涙することです（笑）。

「日本橋美人」と「日本橋美人博覧会」

山田 2009年10月23日〜11月10日に行われた「江戸で彩る日本橋（Japan Beauty from Edo-Tokyo）」第2回日本橋美人博覧会」は、老舗、名店、企業、ホテルなどが街ぐるみで協力して開催し、江戸時代からの日本橋地域に受け継がれてきた固有の文化が、日本橋美人の中に息づいていることを、江戸をテーマに彩り演出しました。国内外から25万5千人の方が、日本橋を訪れてくださいました。御社のキッチンストリームのイベントスペースでは、知ゾーンの会場として参加されましたがいかがでしたか。

田中 先人からの叡知をコンセプトに「秋山庄太郎『和花』写真展」の会場になりました。秋山先生の作品はどれも素晴らしく、ご来場されたお客様に大変喜んでいただくことができました。博覧会を目的にお越しになったお客様も多く、通常とは異なった賑わいを感じられました。また、会期に合わせて用意した黒塀横丁内のおさかな処「築地奈可嶋」の限定「日本橋美人健康膳」は、毎日が発売という反響でした。開催初

日に浮世絵版スタンプリリーを完成されるお客様がいらつしやるなど、第2回日本橋美人博覧会を楽しみにされたリピーターの方も多かったという印象です。

東京駅は日本橋や丸の内などの地域を結ぶ場所ですので、博覧会を通してこのように地域と密着した活動ができることは有意義だと感じました。今回の成果を嬉しく思うと共に、今後もお手伝いしていきたいと思えます。

山田 ところで田中さんにとって「日本橋美人」とはどのような女性でしょう。

田中 周りの様々な情報を受け入れる「余裕」のある女性ではないでしょうか。伝統の技を「美しい」と思えたり、周りに気を配れるような心には「余裕」があるからです。その様な状態を保ち続けられる女性は、本当に素晴らしいと思います。真の「日本橋美人」になれるよう日々努力をしたいと思います。

山田 ゆとりを持って日々を過ごせば、今まで気が付かなかったものをのぞくと見聞きでき感じる心が生まれます。そのような心も身体も美しい「日本橋美人」を目指して、素敵な女性として輝いていきたいですね。



左:山田晃子（NPO法人東京中央ネット副理事長・日本橋美人推進協議会プロデューサー・日本橋OLクラブ部会長・株式会社ヤマダクリエイティブ代表取締役）右:田中聡美（株式会社鉄道会館・日本橋OLクラブメンバー）